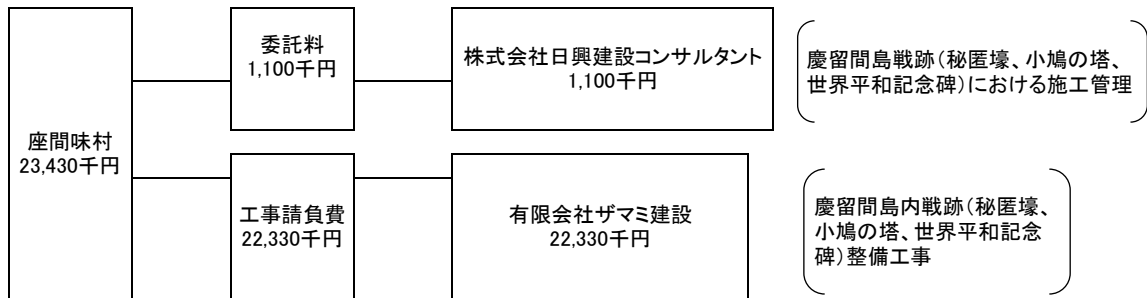


市町村名		座間味村					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-(12)-(ア)	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	<p>座間味村は沖縄戦での米軍の上陸第一歩の地となっているが、沖縄県内においてもその事実はあまり知られていない。また、村内に多く点在する戦跡等を活用した事業等の取組についても十分ではない。</p> <p>村内各地に点在する戦跡等の説明板・案内看板、周辺の環境整備等を行うことにより、村内小中学生による平和学習、地域住民はもとより、観光客の方にも平和について学ぶ機会となり、村外・県外等の修学旅行生や、団体旅行客にも、戦跡等を活用した平和学習事業や取組を行うことができる。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		53,605	—	24,382	—	
			53,605	—	24,382	—	
			—	—	—	—	0
			—	53,605		15,150	
			53,605	53,605	24,382	15,150	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額		0	34,760	8,932	14,498	
			0	27,808	7,145	11,598	
		次年度繰越額	53,605	—	15,150	—	
		執行率(%) (B/A)	0.0%	64.8%	36.6%	95.7%	#DIV/0!
予算の状況の説明	整備箇所は国立公園内の特別地域に指定されており、自然公園法第20条3項の規定により環境大臣あて工作物の新築許可申請が必要であるが、環境省との調整に不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となったため、令和3年度へ繰越しとなった。 また、工事施工範囲の縮小、施工管理費用が当初見込みよりも下回ったため、不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			平成30年度	R1年度	R2年度	年度	
	案内看板・説明看板設置及び進入路。周辺整備工事の発注及び施工管理委託発注	目標	戦跡等の周辺環境整備の完了及び阿嘉・慶留間島整備設計の実施	()	(環境整備工事・施工管理の実施)	(慶留間島内の戦跡等の周辺環境整備の実施)	()
		実績	戦跡等の周辺環境整備の完了及び阿嘉・慶留間島整備設計の完成		環境整備工事・施工管理の完了	慶留間島内の戦跡等の周辺環境整備の完了	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	環境省との調整に不測の日数を要し繰越し事業となったが、慶留間島内戦跡(秘匿壕、小鳩の塔、世界平和記念碑)の進入路整備、案内看板、説明看板の設置工事及び施工管理業務を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	年度	年度	目標値(R4年度)
	戦跡等の周辺環境整備の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R4年度成果目標】 ・修学旅行学校数 ・小中学生対象 理解度アンケート実施 (戦跡を活用した平和学習により、座間味村の沖縄戦に関する歴史への理解が深まったか)	目標	()	()	()	()	(・10校 ・80%以上)
実績							
進捗状況説明	下記のとおり事業を実施し、村内戦跡等を整備したことにより、慶留間島内の戦跡についても平和学習の機会を提供できる環境が整備出来た。 ・秘匿壕の案内看板・説明看板の設置 ・小鳩の塔、世界平和記念碑の侵入経路整備・案内看板設置等周辺の環境整備 ・事業において環境省への国立公園特別地域工事許可申請に時間を要したため、年度内の完了が困難となり繰越となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了に伴い、観光客からの関心も高まり、戦跡について問い合わせも増え、実際に来島し直接現場から問い合わせをしていくケースも数件あった。 ・阿嘉島だけでなく、慶留間島の戦跡整備により、村内の学生、修学旅行生、観光客への平和学習の機会が増えると予想される。それに合わせて戦跡ガイドの育成・活用等の取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦跡に対する周知を今以上に徹底し、住民や観光客など多くの方の利用を促す。 ・新しく完成した戦跡を活用した平和学習・戦跡ガイドを計画し、村内各種団体と連携した企画を実施する。 ・平和未来プロジェクトと連携した戦跡ガイドマップを活用し、観光客への周知を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・残る戦跡の整備事業を実施し、村全体で平和学習を行える環境づくりに取り組む。 ・村内各種団体、宿泊施設、観光業経営者、住民に戦跡等の整備について周知し、「観光をしながら歴史を学べる村づくり」プランを作成する。 ・修学旅行等の誘致に繋がるよう、観光協会との連携、HP等を活用し周知を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
23,430	23,430	18,743	4,687	0



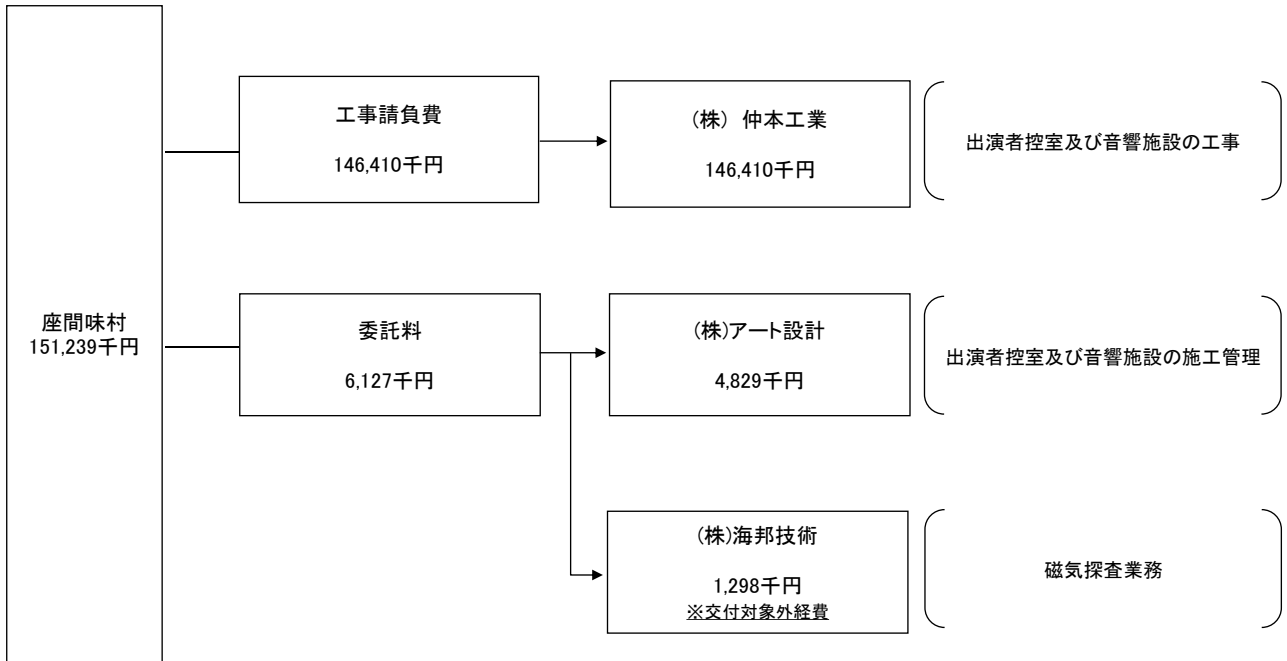
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模は適正な規模であったといえる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	座間味村観光イベント施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	令和1~3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	座間味村歴史文化・健康づくりセンターに隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	年度	年度
		(a)当初予算額	16,381	124,201	-		
		(b)予算現額	16,249	156,172	-		
		(c)増減額(b-a)	▲132	31,971	-	0	0
		(d)繰越額	-	-	92,582		
	A.計(b+d)	16,249	156,172	92,582	0	0	
	B.執行済額	15,570	58,564	92,675			
	うち交付金充当額	12,456	46,851	74,140			
	次年度繰越額	-	92,582	-			
	執行率(%) (B/A)	95.8%	37.5%	100.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	船舶欠航等により工事資材・工事車両等の運搬に不測の日数を要したため、工事にかかる92,582千円を令和3年度へ繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	年度	年度	年度	
	・出演者控室や音調設備など建物の建築	目標	(建物の建築)	()	()	()	
		実績	建物の建築完了				
	・野外ステージ設置に伴う磁気探査業務	目標	(業務の実施)	()	()	()	
実績		業務の完了					
達成状況説明	船舶欠航により工事資材・工事車両等の運搬に不測の日数を要し繰越事業となったが、出演者の控室や音響設備の建物の建築を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	年度	年度	目標値(R4年度)
	・出演者控室等建物の工事、完了 ・磁気探査業務の実施、完了	目標	()	(工事の実施業務の実施)	()	()	()
		実績		工事の完了業務の完了			
	【R4年度成果目標】 イベントへの参加者数	目標	()	()	()	()	(5,040人)
		実績					
進捗状況説明	出演者控室等建物の建築が完了し、令和3年度は野外ステージの工事を行う。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・不落随契により契約を締結したが、当初予定よりも工期が後ろ倒しとなったことに加え、度重なる船舶欠航により資材及び工事車両の運搬に支障が生じた結果、繰越事業となった。	・天候の影響による工事の遅れは防ぐことが出来ないが、入札の早期執行はもとより、離島コストを踏まえた適正な積算の実施等により、事業の早期執行・完了に努める。
	今後の取り組み方針	
・適正な積算の実施、入札の早期執行及び事業着手により、令和3年度中の施設の完成を目指す。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
152,537	151,239	120,991	30,248	1,298



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負は指名競争入札により実施したが2度の入札で不調となり、不落随契で契約を行っており、妥当であると考え。 委託業務は指名競争入札により実施しており、妥当であると考え。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模は適正な規模であったといえる。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	